

3年前に開設された
苫小牧市内の児童養
護施設「鈴蘭」の厨
房(ちゅうぼう)。家
庭的な環境で子ども
たちが暮らす



室蘭市に本部を置く社会福祉
法人室蘭言泉学園(菅野登一郎
理事長)は、さまざまな事情が
あって親と暮らせない子どもを
受け入れる児童養護施設「はま

なす」を4月、苫小牧市緑町に
開設する。市内の児童養護施設
は同法人が2016年4月、山手町
に設置した地域小規模児童養護
施設「鈴蘭」に続いて2カ所目。
新規施設も鈴蘭と同様、定員6
人の小規模施設を予定してい
る。

家庭的な雰囲気
定員6人の小規模

室蘭の社会福祉法人 室蘭言泉学園の児童養護施設

市内2カ所目を開設へ

「子どもたちの成長支えたい」

親の病気や死去、経済的な
困窮、虐待などを理由に親に
代わって社会的な養護を必要
とする子どもは、国内で4万
5000人を超える。児童養
護施設は、そうした子どもた
ちの主要な受け皿となってお
り、全国で約3万人が各施設
で暮らしている。
室蘭言泉学園は、胆振管内
唯一の児童養護施設を運営す
る社会福祉法人。現在、室蘭
市内に定員28人の施設を設
置しているほか、定員6人の小
規模施設を室蘭市内に2カ
所、苫小牧市山手町に1カ所
設けて計46人の子どもの受け
入れをしている。
山手町の鈴蘭は最も新し
く、施設のニーズが高い苫小
牧でも受け入れ体制を整える
ため3年前に開設した。
社会的な養護を必要とする
子どもが増加傾向にある中、
国はより家庭的な環境での養
育が求められているとみて、
里親の委託率向上に加え、既
存の施設の小規模化や地域分
散化などを推し進めている。
同法人もこの流れを受け、
施設の在り方を再検討。室蘭
の本体施設の定員を6人減ら
し、苫小牧市内に定員6人の
はまなすを新設することを決
めた。
はまなすは、緑町の戸建て
住宅を利用。一般家庭に近い
環境の中で子どもたちが生活

を送る。鈴蘭には現在、小学
生から高校生までの6人が暮
らしているが、同法人の担当
者は「学校での出来事や進学
の話で毎日盛り上がるなどま
るで、きょうだいのような関
係性を築いている。一種の絆
も生まれている」と語る。

はまなすも同様に、小規模
で、市健康子ども部の桜田智
施設としての特徴を生かした
施設運営で、子どもたちの豊
かな成長を支えていきたい考
えだ。
市内2カ所目の児童養護施
設が開設されることについて

新施設「はまなす」の 夜間スタッフ募集

社会福祉法人室蘭言泉学園は、苫小牧市緑町に
4月開設予定の地域小規模児童養護施設「はまな
す」で働く夜間スタッフを募集している。
夜間スタッフは食事づくりや配膳、清掃、洗濯な
どの日常生活への支援のほか、入居者が急な体調
不良を起こした際の通院対応などに当たる。
勤務時間は午後5時半～翌日午前9時。
必要資格はなく、雇用保険や労災保険の加入対
象。通勤手当も支給される。
給与や休日など具体的な労働条件についての問
い合わせや申し込みは同法人 電話0143(5
0)6720。